

## 1530 | コミュニケーション研究Ⅰ

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

上原幸子教授、朝比奈ゆり講師

## 授業の概要と目標

「コミュニケーション研究Ⅰ」では、私たちが普段何気なく行っているコミュニケーションについて考察し、人と意識共有していくためのワークショップとメディア制作を体験する。自分の足元を見つめ直すことで独自の視点を掘り起こし、身近な人に伝え、その経験をもとに共同作業を試みる。イメージやストーリーを媒介にして、コミュニケーションを深めていくことを学習する。

この授業では、メディアをコミュニケーションの道具として捉え、自己から他者へ、そして社会へと情報発信していくための課題が、段階的に設定されている。メディア制作そのものに軸があるのではなく、誰に対してどんな意図をもった発信なのか、対象と目的に対して適切な表現を目指すことが重要となる。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

身近な対象を素材に、自分を紹介する紙芝居を制作する。

## ○面接授業課題

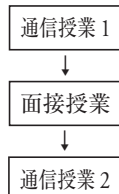
まちづくり活動の現場をグループで訪問し、体験したことをもとにテーマを決め、ワークショップ・企画・取材・編集・デザイン・プレゼンテーションなど、人にはたらきかけていくメディアについて実践的に学ぶ。

## ○通信授業課題 2

身近な仲間の魅力あるプランをはたらきかけ、その記録をデザインする。

\* 課題については学習指導書『コミュニケーション研究Ⅰ・Ⅱ 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画



[通信授業] ※通信課題 1 を面接授業の初日に持参すること。

自己紹介の紙芝居

[面接授業]

ワークショップ・取材・プレゼンテーション

[通信授業]

日常生活活性プロジェクト

## 成績評価の方法

通信授業と面接授業の評点による総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース3年次編入学生を除く）。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース3年次必修科目。

## 教材等

教科書：若林直樹・及部克人監修『コミュニケーション研究Ⅰ・Ⅱ』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『コミュニケーション研究Ⅰ・Ⅱ 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）

## その他

参考文献：高橋陽一監修、杉山貴洋編『ワークショップ実践研究』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

浅海義治ほか企画、編集『参加のデザイン道具箱 PART1～4』（世田谷まちづくりセンター）

原研哉／阿部雅世『なぜデザインなのか。』（平凡社）

山崎亮著『コミュニティデザイン—人がつながるしくみをつくる—』（学芸出版社）

加藤哲夫著『市民の日本語—NPO の可能性とコミュニケーション—』（ひつじ書房）

西村佳哲『かかわり方のまなび方』（筑摩書房）